



やぐもだい

令和5年5月1日
調布市立八雲台小学校
校長 上田 義孝
URL<http://www.chofuschools.jp/yagumodai-sho>

「ルール・マナー・モラル」

校長 上田 義孝

毎日、登校してくる子どもたちを校門で迎えていると、「おはようございます。」と元気な挨拶がかえってきます。その声に、その笑顔に、八雲台小の子どもたちの元気さと輝きが見えます。校庭から空を見渡すと、真っ青な空が広がり、若葉のまぶしい緑が風にそよぎ、色とりどりに咲き誇る花に心癒されます。

新学年が始まって約1か月、子どもたちも学校生活に少しずつ慣れてきたようです。新しく担任になった先生との関わりや、クラス替えのあったクラスは、友達の関わり方なども学んでいるようです。

朝のさわやかな空気の下、学年遊びをして互いの交流を深めたり、窓を開けそよぐ風のなか、静かに読書をしたりする時間は、子どもたちの心の成長に結びつく大切な時間と考えます。

今日は大型連休の中日、後半の連休にも各ご家庭では多様な計画をされているのではないのでしょうか。感染症の状況も安定してきていることから、お出かけになる家庭も多いかと思えます。その家庭で過ごす時間に、ぜひ「ルール・規則」「マナー・礼儀」「モラル・善悪」について、その場に応じたご家庭での学びをお願いしたいと考えています。

「ルール・規則」…絶対的であり、罰則を伴うことがある。→目的：社会の秩序を保つため

「マナー・礼儀」…罰則はなく、気にする人とならない人がある。→目的：円滑な人間関係を築くため

「モラル・善悪」…罰則はなく、個人の考え次第である→目的：みんなが幸せに生きるため
マナーとモラルは、似ている面がありますが、マナーが慣習に従うものだとすると、モラルは個人の自発的な思考によるものといえるかもしれません。

スポーツには競技ごとにルールがあり、そのルールの上でゲームが成り立ちます。また、サッカーワールドカップの時には、日本人選手や応援団のマナーの素晴らしさも話題になったところですが、それは、各自のモラルによるものではないでしょうか。それぞれが密接に関係していることがわかります。

学校では、道徳の授業で「ルール・規則」「マナー・礼儀」「モラル・善悪」それぞれについて、様々な角度から考えさせたり、議論させたりする時間を設定しています。

ご家庭でも「SNS家庭ルール」などがあると思います。「一日のゲームは〇時間まで」など。大型連休では、子どもも大人も心が開放的になり、自由だからと、何時間もゲームに時間を使ってしまうたり、静かにさせるための手段として、ゲームをさせてしまったりと、そんな傾向も今の時代にはあることと思います。

その考えを転換して学びの時間に、例えば「読書」などをお勧めします。長距離電車や車の中での静かな読書などは、「マナー」でも「モラル」でもプラスの方向になるばかりでなく、思考や空想、発想に結びつく良いチャンスだとも思います。もちろん大いなる自然の景色を堪能することも大切です。

その場に応じたご家庭での学び、その基盤を生かしながら5月の教育を進めてまいります。連休明けに元気な子供たちの挨拶や笑顔、そして心落ち着いた姿を楽しみにしています。

大型連休後の子どもたちの健康管理等については、市からの連絡があり次第お知らせいたします。